

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社 北川鉄工所 上場取引所 東
 コード番号 6317 URL <http://www.kiw.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)北川 祐治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員 (氏名)宇田 育造 (TEL)0847-45-4560
 経営管理本部長兼調達本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	9,409	2.3	212	70.8	445	548.5	215	714.9
25年3月期第1四半期	9,195	△4.4	124	1.1	68	△47.8	26	△69.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 771百万円(746.5%) 25年3月期第1四半期 91百万円(△27.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第1四半期	2	25	—	—
25年3月期第1四半期	0	28	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	56,926		23,796		40.8	
25年3月期	52,957		23,217		42.8	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 23,248百万円 25年3月期 22,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	0	00	—	2	00
26年3月期	—	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0	00	—	2	50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	20,000	2.4	500	△9.5	500	0.1	250	△29.2	2	61
通期	42,000	3.8	1,500	51.7	1,500	△38.6	750	△50.2	7	84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期1Q	96,508,030株	25年3月期	96,508,030株
26年3月期1Q	852,439株	25年3月期	848,589株
26年3月期1Q	95,656,608株	25年3月期1Q	95,667,261株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）におけるわが国の経済は、政府によるデフレ脱却や経済成長の促進を図る政策への期待感から、円高修正に加え、株高が継続し景況感の改善が見られました。一方で、海外経済の減速懸念や円安による輸入品価格の上昇など、国内景気の押し下げリスク要因もあり、依然として力強さに欠ける状況が続いております。

当社の関連業界におきましては海外向け販売局面において、前年同四半期に比べ売上が減少した事業分野もありましたが、国内、国外ともに需要への期待感が高まってまいりました。

このような状況のなか、当社グループでは工作機器の売上は減少したものの、自動車関連部品などが堅調に推移したことによって、全体的な売上は前年同四半期に比べ増加しました。また、生産効率の向上、経営品質の向上に努めるなど、収益拡大のための積極的な施策を行ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 9,409百万円（前年同四半期比 2.3%増）、営業利益は 212百万円（前年同四半期比 70.8%増）、経常利益は 445百万円（前年同四半期比 548.5%増）、四半期純利益は 215百万円（前年同四半期比 714.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

金属素形材事業

一般社団法人日本自動車工業会の発表によりますと、国内需要は補助金効果の剥落の影響により平成25年は474万台（前年比 11.7%減）と予測されております。また、世界需要は中国を始めとする新興国を中心に堅調に推移し平成24年の実績8,400万台を上回ると予測されております。

当事業におきましては、中核である自動車ミッション部品が各社のグローバル展開も含め、好調を維持してまいりました。建設機械部品は中国での建設機械の需要低迷により低調に推移しました。農業機械部品は、米国向けが堅調に推移してまいりました。

このような状況のなか、グローバル展開を踏まえて既存顧客のインシェア拡大と当事業の強みを活かした新規アイテムの受注獲得に努めるとともに、受注変動に即した生産体制の対応と、不良率・歩留などの改善による生産効率の向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は 5,319百万円（前年同四半期比 13.9%増）、セグメント利益（営業利益）は 342百万円（前年同四半期比 82.4%増）となりました。

工機事業

一般社団法人日本工作機械工業会の発表によりますと、平成25年4月から6月までの工作機械受注総額は、274,235百万円（前年同期比 14.5%減）となりました。昨年長引く円高と中国、インドの金融引締政策を受けて国内外の設備投資が控えられたことから、需要が低迷しておりましたが、徐々にではありますが、増加傾向に推移しております。

当事業におきましては、年明けから国内、国外ともに受注が増加しており、特に日本の工作機械メーカー向け及び国内一般市場向けの受注が増えてまいりましたが、海外販売実績は、前年同期に比べ大幅な減少となりました。価格競争面では、国内、国外を問わず工作機械メーカーの新興国向けローコスト機の販売増が顕著になり、依然として市場での価格競争が激化しております。

このような状況のなか、生産面では生産性向上のための生産設備ラインの構築、製品価値の向上を目指したVE活動に積極的に取り組むことにより、収益性の向上に努めてまいりました。また、販売局面では、当期よりお客様の要求に応じた個別対応品チェック事業をさらに強化するための部門を新設し、お客様の要求にあった個別商品をタイムリーに提供できるよう取組みをスタートしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は 1,718百万円（前年同四半期比 27.6%減）、セグメント利益（営業利益）は 157百万円（前年同四半期比 58.2%減）となりました。

産業機械事業

国内建築・土木業界では、永らく公共投資の抑制などによる市場の低迷感がありましたが、震災復興事業も本格的に始まり、所謂アベノミクスとも相まって、全体的に好調感が見られました。

当事業におきましては、マンション販売戸数の持ち直しや生コンクリート需要の増加に伴う設備更新への前向きな姿勢が見られ、堅調に推移しました。

このような状況のなか、環境関連では、除染事業への本格的参入に向けた準備を進めるとともに、粉体、バイオマス関連の強化を図りました。荷役機械関連では、消費増税、再開発、更新時期到来といった今後見込まれる需要増を見据えた営業活動に注力いたしました。特機関連では、CFRP加工専用機を市場投入するなど、新商品の拡販を推進いたしました。自走式立体駐車場では、商品力と企画力で他社に先行した営業と、設計費や制作費の更なる削減に取組み、収益の確保に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は 2,371百万円（前年同四半期比 10.3%増）、セグメント利益（営業利益）は 261百万円（前年同四半期比 117.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金や有形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べて 3,968百万円増加し 56,926百万円となりました。

負債は、主に長期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ 3,388百万円増加し、33,129百万円となりました。

純資産は、主に配当金の支払いによる利益剰余金の減少がありましたが、為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ 579百万円増加し 23,796百万円となりました。純資産から少数株主持分を差し引いた自己資本は 23,248百万円となり、自己資本比率は 40.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表した予想に変更はございません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,006	10,775
受取手形及び売掛金	13,626	12,894
商品及び製品	2,984	3,288
仕掛品	1,875	2,308
原材料及び貯蔵品	1,085	1,159
その他	1,001	1,345
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	29,568	31,760
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	8,391	8,931
その他（純額）	10,786	11,790
有形固定資産合計	19,177	20,722
無形固定資産	367	369
投資その他の資産		
その他	3,943	4,193
貸倒引当金	△99	△120
投資その他の資産合計	3,844	4,073
固定資産合計	23,389	25,165
資産合計	52,957	56,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,826	6,928
短期借入金	6,045	4,045
1年内返済予定の長期借入金	2,444	2,477
未払法人税等	1,248	34
賞与引当金	451	145
その他	2,754	3,589
流動負債合計	19,769	17,220
固定負債		
長期借入金	4,781	10,615
退職給付引当金	3,397	3,529
環境対策引当金	1,041	1,041
その他	751	723
固定負債合計	9,970	15,908
負債合計	29,740	33,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	5,089	5,089
利益剰余金	8,574	8,598
自己株式	△143	△143
株主資本合計	22,161	22,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	647	673
為替換算調整勘定	△116	390
その他の包括利益累計額合計	530	1,064
少数株主持分	525	548
純資産合計	23,217	23,796
負債純資産合計	52,957	56,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	9,195	9,409
売上原価	7,689	7,800
売上総利益	1,506	1,608
販売費及び一般管理費	1,381	1,395
営業利益	124	212
営業外収益		
受取利息	14	17
受取配当金	20	22
持分法による投資利益	26	30
為替差益	—	158
その他	51	58
営業外収益合計	113	288
営業外費用		
支払利息	29	43
為替差損	130	—
その他	9	11
営業外費用合計	169	55
経常利益	68	445
特別利益		
固定資産売却益	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産売却損	—	10
固定資産除却損	—	17
特別損失合計	—	27
税金等調整前四半期純利益	68	426
法人税、住民税及び事業税	15	38
法人税等調整額	27	194
法人税等合計	42	232
少数株主損益調整前四半期純利益	25	193
少数株主損失(△)	△0	△21
四半期純利益	26	215

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25	193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188	26
為替換算調整勘定	240	538
持分法適用会社に対する持分相当額	13	12
その他の包括利益合計	65	577
四半期包括利益	91	771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91	748
少数株主に係る四半期包括利益	△0	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	金属素形材事業	工機事業	産業機械事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,671	2,374	2,150	9,195
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	44	1	88
計	4,713	2,419	2,151	9,283
セグメント利益	187	376	120	684

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	684
全社費用(注)	△560
四半期連結損益計算書の営業利益	124

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	金属素形材事業	工機事業	産業機械事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,319	1,718	2,371	9,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	0	0	46
計	5,364	1,718	2,371	9,455
セグメント利益	342	157	261	761

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	761
全社費用(注)	△548
四半期連結損益計算書の営業利益	212

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。